

平成26年度当初予算 施策 取組概要

222 地域に開かれた学校づくり

22201 地域とともにある学校づくりの推進

(教育委員会)

(主担当部局：教育委員会)

22202 地域で支える教育活動の推進

(教育委員会)

県民の皆さんとめざす姿

子どもたちの学びと育ちを支えるため、家庭や地域と連携した開かれた学校づくりが進み、学校・家庭・地域が一体となって教育に取り組む社会が形成されています。

平成27年度末での到達目標

それぞれの地域において、開かれた学校づくりの取組が進められ、家庭や地域と連携した学校運営や教育活動が展開されています。

県民指標						
目標項目	23年度	24年度	25年度		26年度	27年度
	現状値	目標値 実績値	目標値 実績値	目標達成 状況	目標値 実績値	目標値 実績値
学校関係者評価やコミュニティ・スクールなどに取り組んでいる学校の割合		93.0%	97.0%		98.5%	100%
	90.0%	95.3%				
目標項目の説明と平成26年度目標値の考え方						
目標項目の説明	学校関係者評価やコミュニティ・スクールなど、保護者や住民等が学校運営や教育活動へ参画する仕組みを取り入れている学校の割合					
26年度目標値の考え方	地域に開かれた学校づくりの推進を図ることにより、着実に年度目標値を達成することをめざして、平成27年度目標値(100%)の達成を見据えて平成26年度の目標値を98.5%に設定しました。					

活動指標							
基本事業	目標項目	23年度	24年度	25年度		26年度	27年度
		現状値	目標値 実績値	目標値 実績値	目標達成 状況	目標値 実績値	目標値 実績値
22201 地域とともにある学校づくりの推進 (教育委員会)	学校関係者評価により学校運営や教育活動への保護者や住民等の参画を進めている県立学校の割合		40.0%	88.0%		94.0%	100%
		—	81.2%				
22202 地域で支える教育活動の推進 (教育委員会)	教材「三重の文化」を活用した中学校の割合		80.0%	85.0%		90.0%	100%
		—	61.9%				

## 進捗状況（現状と課題）

- ・市町教育委員会と連携し、各地域における取組状況についての情報交換や今後の推進に向けた課題の解決方策について協議を行いました。各地域における開かれた学校づくりの推進を図るためには、今後も、地域別の「開かれた学校づくり推進協議会」を開催し、課題の解決に取り組む必要があります。
- ・開かれた学校づくりサポーターを学校や教育委員会等に派遣し、開かれた学校づくりの推進に向けた助言を行いました。今後は、サポーターのさらなる活用に向けて各市町教育委員会に働きかけていく必要があります。
- ・多くの学校で、学校関係者評価委員会が開催されています。また、県立学校が地域の関係者ととともに進める改善活動に対する財政的支援を行いました。今後は、各学校における学校関係者評価を活用した学校運営や教育活動の取組を引き続き支援する必要があります。
- ・学校関係者評価研修会において、より実践に繋がるようグループワークによる情報交流や討議を行い、活用できると回答した参加者の割合が昨年度より上昇しました。今後は、学校の改善活動につながる学校関係者評価がより効果的に実施されるよう、研修の充実を図る必要があります。
- ・県立高等学校の活性化については、「県立高等学校活性化計画」（平成 25 年 3 月策定）に基づいて取り組むとともに、少子化が大きく進行すると予想される地域（伊勢志摩・伊賀・紀南）に、保護者・地域の教育関係者・教員代表等からなる「協議会」を設置し、地域の声を聞きながら、地域の高等学校の活性化の方策やあり方を検討しています。今後はこれらの取組を引き続き進める必要があります。
- ・地域人材を活用した学習支援活動を先進的に行っている市町の取組について、情報共有を図りました。今後は、土曜日や放課後等に地域人材を活用した学習支援活動の促進を図るとともに、仕組みづくりが十分ではない地域に対し、働きかけを継続していくことが必要です。
- ・郷土教育の一環として、ふるさと通信「知ろう語ろう伊勢神宮」を作成・配付するとともに、「ふるさと三重かるた」の年度末の完成・配付に向け、絵札作成に取り組みました。また、教材「三重の文化」については、活用授業例を教育委員会 Web ページに掲載しましたが、今後は、授業で十分活用されるよう働きかけていく必要があります。

## 平成 26 年度の取組方向

### 教育委員会

- ・コミュニティ・スクール等の開かれた学校づくりを推進するため、市町と連携して、開かれた学校づくり推進協議会を開催し、それぞれが抱える課題の解決に向けて取り組みます。
- ・学校や地域の状況に応じた開かれた学校づくりを支援するため、学校や教育委員会等に、開かれた学校づくりサポーターを派遣し、適切な助言等を行います。
- ・各県立学校の改善活動が、地域や他校種との協創活動として有効なものとなるよう、助言するとともに、優れた取組や成果を県立学校に還流します。
- ・学校関係者や教職員が学校評価の目的や効果的な手法についての理解を深め、学校関係者評価を適切に実施できるよう、学校関係者評価に関する研修会を実施します。
- ・県立高等学校の特色化・魅力化を進めるために、引き続き「県立高等学校活性化計画」に基づいて県立高等学校の活性化に取り組むとともに、地域協議会において、地域住民や教育関係者と十分に協議しながら、教育環境の整備を進めます。
- ・土曜日や放課後等に地域人材を活用した学習支援活動がさらに多くの学校で取組まれるよう、開かれた学校づくりの推進に向けた啓発を進めるとともに、学校と地域住民等をつなぐコーディネーターの育成など、地域の教育力の活用に向けた支援を進めます。

- ・教材「三重の文化」が、授業においてより一層活用されるようにするため、「三重県 心のノート」や「ふるさと三重かるた」の活用促進とも合わせた取組を市町教育委員会と連携して進め、総合的に郷土教育の推進を図り、誇りと自信を持って三重の良さを発信できる人づくりを推進します。

## 主な事業

### 教育委員会

- 地域と協働する学校運営支援事業【基本事業名：22201 地域とともにある学校づくりの推進】

(第10款 教育費 第1項 教育総務費 2事務局費)

当初予算額：(25) 11,690千円 → (26) 8,110千円

事業概要：公立学校において、保護者や地域住民等の学校運営や教育活動への参画を進めるため、「開かれた学校づくり推進協議会」における協議の充実を図るとともに、サポーターの研修会等への派遣などを通じて、各市町におけるコミュニティ・スクール等の導入を支援します。また、県立学校における学校関係者評価の義務化に伴い、学校関係者評価の質を高めるため、学校関係者評価委員等を対象とした研修会の実施や評価結果に基づく改善活動への支援を行います。

- 教育改革推進事業【基本事業名：22201 地域とともにある学校づくりの推進】

(第10款 教育費 第1項 教育総務費 2事務局費)

当初予算額：(25) 6,921千円 → (26) 7,024千円

事業概要：「県立高等学校活性化計画」に基づき、県立高等学校の活性化を推進するため、少子化等課題のある地域において地域協議会を開催し、地域の高等学校の今後のあり方を検討するとともに、平成28年度の名張地域新高校の開校に向けて、教育内容等の具体の検討を進めます。

- (新)土曜日等の教育活動推進事業【基本事業名：22202 地域で支える教育活動の推進】

(第10款 教育費 第1項 教育総務費 4教育指導費)

当初予算額：(25) ー千円 → (26) 4,211千円

事業概要：土曜日の授業を推進するため、効果的なカリキュラムの開発、外部人材等の活用を支援するとともに、その成果の普及を図ります。また、土曜日等に、大学生や教員経験者、地域住民等がその知識・技能を活用して教育支援を行うことにより、地域における学習やスポーツ、体験活動などの様々な活動を実施します。

- (一部新)地域による学力向上支援事業【基本事業名：22202 地域で支える教育活動の推進】

(第10款 教育費 第1項 教育総務費 4教育指導費)

当初予算額：(25) 13,915千円 → (26) 13,029千円

事業概要：大学生や教員経験者等地域住民の知識・技能を活用して、子どもの学力向上を図る市町の取組を支援し、地域住民等による学校を支援する体制づくりを推進します。また、学校と地域住民等をつなぐコーディネーター等への研修や、事業成果の共有と普及を図るための成果報告会等を実施します。

●「ふるさと三重」郷土教育推進事業【基本事業名：22202 地域で支える教育活動の推進】

(第10款 教育費 第1項 教育総務費 4教育指導費)

当初予算額：(25) 6, 283千円 → (26) 5, 583千円

事業概要：豊かな心や郷土への愛着と誇りを持ち、三重県について自信をもって発信できる児童生徒の育成をめざし、教材「三重の文化」、「ふるさと三重かるた」及び「郷土の文化財」を中心とした取組を進めます。

また、教材「三重の文化」が、授業においてより一層活用されるようにするため、「三重県心のノート」や「ふるさと三重かるた」の活用促進とも合わせた取組を市町教育委員会と連携して進めます。